

県岐阜商 甲子園へ

第107回全国高校野球岐阜大会決勝

▷決勝 (28日・ぎふしん長良川球場)

| | | | | | | | | | | |
|-------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 県岐阜商 | 0 | 4 | 0 | 3 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 10 |
| 帝京大可児 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

帝京大可児破り3年ぶり



第107回全国高校野球選手権岐阜大会最終日は28日、岐阜市のぎふしん長良川球場で決勝を行い、県岐阜商が帝京大可児を10-0で破り、3年ぶり31度目の甲子園出場を決めた。

県岐阜商は1回戦で大垣養老に13-4、2回戦で加納に5-0、3回戦で池田に10-1で勝利すると、準々決勝では多治見工を10-3で下して4強入り。準決勝ではノーシードから勝ち上がった関商工に5-0で快勝した。準決勝まで計5試合で43得点、8本塁打を記録。全試合で2桁安打と圧倒的な打力で勝ち進んできた。駒瀬陽尊、坂口路歩、小鎗稜也ら強打者が軸となり、切れ目のない打線を支えた。昨年準優勝の雪辱を果たし、参加68校63チームの頂点に立った。